

地元・彦根の選手にインタビューしました!



▲滋賀県開催の国スポ・障スポについて→「もちろん出場したいです」「やっぱり滋賀で行う大会が一番楽しい」とのことでした!



▲投げる姿がかっこいい!

陸上競技 少年男子 A やり投 1位 彦根翔西館高校 2年 谷口 大翔 選手

Q. 大会結果についてどう思いましたか?

もちろんうれしい気持ちもありましたが、前日練習では70mという自己ベストの記録を出せたので、それが本番で出せなかったのは悔しかったです。

Q. やり投を始めたきっかけは?

小学6年生のとき、テレビでオリンピックのやり投を観て憧れを抱き、中学校ではやり投の競技がなかったので、円盤投(投擲競技の種目)などを始めました。やり投の魅力って、陸上競技場のど真ん中で出来る、一番距離が出る場所なんです。日本人でも世界で戦うことができるという点にもすごく惹かれました。カッコ良くて大好きな競技です。

Q. 今後の目標は?

まず来年の春には70mを出したい。そして、高校生の日本記録(76m)を出したいです。将来的には、オリンピックなど世界で戦えるような人間になりたいです。

陸上競技 100m / 知的青年女子 1位
400m / 知的青年女子 2位

みずき 林 瑞妃 選手

Q. 大会結果についてどう思いましたか?

100mは、本番、すぐ後ろに誰もいなくて競い相手がおらず、タイムが上がらなかつたです。400mは、出だしは良かったのですが、最後の100mで自分に負けてしまいました。どちらの種目も悔しい気持ちが大きい。

Q. 陸上競技を始めたきっかけは?

小学6年生のとき、同級生がかっこよく走っていたのを見て、楽しそう!と思って。陸上教室に参加して、実際に走ったらハマりました。走るとテンション上がって楽しいんです。

Q. 今後の目標は?

100mは、今年の大会新記録の13秒18を目指したい。400mは自己ベストの65秒05に近づけるようにがんばりたいです。



▲かっこよく力強い走り!



▲滋賀県開催の国スポ・障スポについて→「楽しみたい」「いろんな方が滋賀に来て楽しんでくれたらうれしい」とのことでした!

林さんよりメッセージ

知的障害者の世界大会に出場するには、18歳未満でIQテスト(世界共通テスト)を受ける必要があります。私自身、19歳でその事実を知り、IQテストを受けていなかったため、とてもショックを受けました。いくら実力があってもテストを受けていないだけで、世界大会に出られなくなります。後悔する方が増えないよう、みんなにも知っておいてほしいです。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会入賞者紹介

両大会で、各競技3位以内に入賞された選手を紹介いたします(市内在住・順不同)。

● いちご一会とちぎ国体 <1位>

【陸上競技】少年男子 A やり投: 谷口 大翔 さん

【ホッケー】少年男子: 山中 楽生さん、北村 壮平さん、川崎 陽奈太さん、眞田 眺希さん

● いちご一会とちぎ大会 <1位>

【陸上競技】

100m / 知的青年女子: 林 瑞妃 さん

50m / 身体2部男子: 金塚 雅章 さん

立幅跳 / 身体2部男子: 金塚 雅章 さん

<2位>

【陸上競技】

400m / 知的青年女子: 林 瑞妃 さん

<3位>

【陸上競技】

800m / 知的青年男子: 大橋 尚輝 さん

問 スポーツ振興課 ☎ 22-5955 FAX 21-3080



国スポ・障スポ推進課の宮川が

国スポの競技
体験してみた②

「陸上競技」

いざ!体験!

<短距離走>
クラウチングスタート



肩から手まではできれば垂直に☆ この体勢だけでツライ!

<リレー>
オーバー(アンダー)ハンドパス



腕をあげるのがしんどいかも☆ オーバーハンドパス



足をかける【スターティングブロック】は位置を調整できる☆



アンダーハンドパスは、バトンを渡す方が腕の長さ分走らないといけない。ラクですね!

器具の裏側に付いた針をレーンにさして固定するそうです。知らなかった!

アンダーハンドパスは、バトンを渡す方が腕の長さ分走らないといけない。

Information

「プロシードアリーナ HIKONE」オープニングイベントを行いました!



12月10日・11日にプロシードアリーナ HIKONE (彦根市スポーツ・文化交流センター) のオープニングイベントを行いました。オープニングセレモニーでは市長・副市長・議長・ネーミングライツパートナーである(株)PRO-SEED 青柳社長・ひこにゃんがくす玉を割り、華々しいオープンとなりました。様々な体験会やステージ発表が行われましたが、両日とも多くの方が来場し大盛況でした。

地域の方に愛される施設となるよう、指定管理者とともに全力で運営を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

問 スポーツ振興課 ☎ 22-5955 FAX 21-3080

<施設の利用予約は施設にお電話ください>

問 プロシードアリーナ HIKONE (小泉町)
☎ 30-9228 FAX 30-9229 (定休日: 火曜日、年末年始)

※空室状況や料金情報など、詳しくはプロシードアリーナ HIKONE のホームページ (QRコード) をご覧ください。



～青柳社長からのメッセージ～

“プロシード”には、プロフェッショナル、種をまいて育てる、前進する、という意味があります。多くの若者が、プロシードアリーナ HIKONE から様々な分野へプロフェッショナルとして、羽ばたいてくれることを願っています。(代表取締役 青柳 孝幸)

<株 PRO-SEED について>

プロシードアリーナ HIKONE のネーミングライツパートナー(※)である「株 PRO-SEED」は、市内に本社を構え、産業用自動化設備エンジニアリングで、世界中の工場の自動化を手掛ける一方、地元では子ども向けにロボットプログラミング教室を開催するなどエンジニアの育成にも注力されている企業です。

※ネーミングライツとは施設の安定的な運営、市民サービスの充実および向上を図るとともに、愛称を付与する権利を有する者(ネーミングライツパートナー)の社会貢献、認知度向上、事業活動の促進等につなげ、協働型の行政運営および地域の活性化を目指すための権利です。



株 PRO-SEED のホームページはこちらへ